

会議録（要旨）

1. 委員長あいさつ

皆さんこんにちは、12月に入ってめっきり寒くなってきました。もう、第4回ということで佳境に入ってきていると思います。皆さんのご協力をお願いいたします。

2. 議事（1）あま市健康づくり計画の愛称（案）について

資料1

投票結果

1. すこやかあま夢プラン・・・3票
2. あま活き生きプラン・・・9票
3. 楽々あまプラン・・・・・・・・0票
4. にこにこあまプラン・・・0票

3. 議事（2）あま市健康づくり計画（素案）について

資料2

【質疑等】

○小島委員

59ページの身体活動と運動というところで、今説明がありました現状値のないところ上から3つ目、外出について現状値が無く、いきなり70パーセント、70パーセント。その何かの数値がどこかであって、それに準じて書かれているのか。その下の心の健康のところの空白のところも80パーセント、40パーセントになっているのはどうしてですか。

●事務局

この空白の部分につきましては、今回はアンケート調査を行っていませんので市としては数値を持っていない部分になります。58ページの上から5行目ぐらいまで下がっていただきますと、白の☆印がついていますのでアンケート調査で把握していないものの、分野別の取り組みを実現できるよう、国や県計画に基づく指標や目標を勘案し、県・国の目標数値を基にあま市で作成した指標です。

○小島委員

はい、わかりました。

○渡邊委員長

空白の部分は全部国とか県の数値を参考に作られたんですね。

●事務局

はい。

○渡邊委員長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

○大竹委員

今の 59 ページですけれども、心の健康づくりのところの自殺者の減少のところなんですけど、現状値がないのに減少と目標としてはいいと思うんですけど、減ったかどうかわからないので基の数値があって初めて減少ですよ。目標値とところが無いのに減少ということは何を以て減少というんですかね。

●事務局

自殺者の数につきましては、保健所さんの方から数値は頂いておりますのでそれで比較ができるかと思ひます。

ここに入れた方がよいでしょうか。人数は把握していますのでよろしくお願ひします。

○渡邊委員長

数字としては表に出しにくいということですか。

●事務局

出せますけど。平成 17 年から平成 21 年までの 5 年間で旧甚目寺町、七宝町、美和町の合計数として 73 人となっています。これを 5 年間で割りますと 1 年間で 14 人ほどになります。平成 21 年の結果が最新で出ています。七宝町 6 人、美和町 4 人、甚目寺町で 9 人となり合計 19 人になりますのでよろしくお願ひします。

○渡邊委員長

今説明があつたのでわかるんですけど、一般の方が見て同じような疑問を持たれると思うが、その点の注意書きみたいなものは何かされるのでしょうか。

●事務局

21 年の数値を参考数値という形でここに記入させていただくか、どこか下の方に注意書きを設けるかなんですけれども、また、内部で検討させていただきパブリックコメントの原稿には何か入れさせていただきたいと思ひます。

○渡邊委員長

お願ひいたします。

○青木委員

58 ページ (1) の栄養と食生活の表の中で、指標で適正体重を維持している人の増加ということで例えば 2 つ目の項目 40~60 歳代男性の肥満者の減少、男性 40~60 歳代で計画策定時の現状値はなしでそれを 30 パーセント以下、女性の場合も 25 パーセント以下にするという数字があるんですけど、この根拠は先ほど説明があつたのである程度推測できるんですけど、この目標を達成するための難易度を考えると私自身も含めてですね、体重を今健康診断に行くと BM 何とかという体重を身長で 2 回割って、25 だとか 30 だという数字になっちゃうと肥満になっちゃうんでそれを

減らさなくちゃいけないと認識はしているが、こういう市民運動を含めて健康づくりという観点から30パーセント以下にするとか、女性25パーセント以下にするだとかかなり現状がどれだけなのかわからないだけに30・25という数値の目標値としての位置づけや意義とか、例えば愛知県下のデータが何パーセントだからあま市はそれに準じて適用すると30パーセント、今35パーセントだから後5パーセントだというような内容だと言う数値的な根拠があればわかりやすいが、そのほかの現状値の数字が入っていないところも同じなんですけど代表的な項目として今肥満という健康を維持していくうえで大変重要な項目ですが、どのような観点で表示されたのか背景をお聞きしたいと思います。

●事務局

先ほども水谷の方から説明させていただきましたが、17ページの方へ戻っていただけませんか。こちらの方に特定健診の受診状況ということでイのところにメタボ該当者割合ということで、先ほど男女の記入がないので申し訳ないんですが、男性の方を見ていただきますと20.5パーセント、29.1、32.7、32.8となっていますのでこれから推計をしていけば男性の方は30パーセントを超えるんじゃないかと思われま。女性の方はこれを足していくと目標としている25パーセントより小さい数値になるんですけど、県の方の目標値がありまして40歳から60歳までの女性の県の目標値は12パーセント以下となっています。実際直近値が15.3パーセントですのでそのあたりが緩いというか、あま市の目標値は緩くしてあるんですけど、県並みにもっと厳しい15パーセントその辺まで持っていければいいと思うんですけど、5年間でそこまで行くのは難しいと思ひまして緩い目標値に設定してあります。

○青木委員

今のお話を聞いてですね、この健康日本21に基づくあま市での先ほどのスローガンを決めてこれからやっいてこうとする5年間のスパンで見ても現状値に比べあまり下げる数字ではないと聞きますと、計画そのものに対してみんなが達成するためお互い頑張りましょうと健康なあま市民になりましょうという目標に対して掲げて達成する今後の意欲に影響すると思ひますので、率直に言ってもっと緩いという表現でなくて、並みの達成15.3パーセントするための、12パーセントにするための方策をどこまで持っていくのか、現状値と比べて厳しい努力目標にされたらご提案申し上げます。

○渡邊委員長

ありがとうございます。その辺の意欲ということで事務局の方も。

●事務局

時間が5年間しかにものですから、なかなかすぐに結果が出ないと思ひますので、もう一度考えさせていただきますして目標を高く設定させていただきますのでよろし

くお願いします。

○渡邊委員長

最初の目標というのは最初の目標はある程度厳しい方がいいので実際やってみて、先ほど説明があった第5章の毎年データを取って評価するような計画もされるということで、最初からあまりゆるくしとくんでない方が良くと思います。そのあたりよろしくお願いします。

他よろしいでしょうか。ここで僕の方から一つ提案があります。58 ページからの目標を決めさせていただいて、一番初めにこのあま市でも超高齢化がということで対象になっている児童生徒の部分がなんか少ないなというイメージがあるんですけど、例えば栄養と食生活のところ児童・生徒の痩せの減少、この項目の一番下家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の増加、これ今の子供たちにはすごく言えるのかなあと思うんですけど、データの的には同じ数値で出せるとは思わないが、例えば成人はこれだけ、児童生徒はこれだけといったように、こういったところにも成人に限定しないでできないのかなと思ったんですけど。

●事務局

今回、今年の2月にアンケートを取らせていただいた時の対象者が20歳以上ということでアンケートを実施しましたので、子供さんのデータが少なかったものから、この児童・生徒の痩せの減少につきましても学校の方から資料をいただいてもものでして、今回の計画では子供の資料が無くて困ったところなんですけど。

○渡邊委員長

わかりました。今回間に合わなかったということであれば、こういう計画を作る場合にはちゃんと踏まえて、確かに最初のアンケートが成人のアンケートということでその時点で問題があったと思いますのでよろしくお願いします。

4. その他

パブリックコメント（12月号広報）について

PDF資料

5. 次回予定

第5回策定委員会を平成24年1月下旬から2月上旬に開催。